

平成25年行政事業レビューシート (復興庁)								
事業名	安全・安心のための子どもの健康対策支援事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針(平成24年7月23日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島第一原子力発電所事故により、子どもの健康への影響に対する不安が全国的に広がっている。このため、学校給食における放射性物質を測定するための検査の実施及び結果の公表への支援を行うとともに、屋外活動を控えている児童生徒等の精神的ストレスや運動不足を解消するための医師やスポーツトレーナーの派遣などへの支援を行うことにより、児童生徒等の健やかな体の育成や児童生徒や保護者のより一層の安全・安心の確保を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>児童生徒や保護者のより一層の安全・安心を確保するため、学校給食において放射性物質を測定するための検査を継続して実施し、結果を公表する。また、医師やスポーツトレーナー等を派遣し、講話や実技等を実施する。</p> <p>*平成24年度までは文部科学省において計上していたが、予算計上所管の変更により、平成25年度以降は復興庁計上事業として実施(事業番号:0217、事業名:環境放射線測定等の充実(東日本大震災復興特別会計))</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				216	219	
		繰越し等				-	-	
		計				216	219	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	学校給食における放射性物質を測定するための検査や医師やスポーツトレーナーの派遣等への支援を行うことにより、児童生徒や保護者の安全・安心を確保することを目標とした事業であり、定量的な成果目標等を定めることは困難。			-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業を実施している都道府県等の数			箇所	-	-	-	(9)
単位当たりコスト	2,400,000(円/箇所)		算出根拠	単位当たりコスト=2,160,000円(支出額)/事業実施箇所数(9)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	初等中等教育等振興事業委託費、職員旅費	216百万円	219百万円					
	計	216百万円	219百万円					

事業所管部局による点検				
	項目		評価	評価に関する説明
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	福島第一原子力発電所事故により、子どもの健康への影響に対する不安が全国的に広がっている。学校給食への影響に対する保護者の不安、放射線に対する不安から、外出できないことに伴う精神的ストレスや運動不足による食欲不振、不眠、肥満等が問題となっており、国として、そうした不安を解消する安全・安心を確保するための事業を実施する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点 検 結 果	<p>本事業は、学校給食における放射性物質を測定するための検査の支援及び結果の公表を行うとともに、屋外活動を控えている児童生徒等の精神的ストレスや運動不足を解消するための医師やスポーツトレーナーの派遣等への支援を行うことにより、児童生徒や保護者の安全・安心を確保することを目的とするものである。定量的な成果目標等を定めることは困難であるが、学校給食の検査結果の公表や、医師やスポーツトレーナーなどによる講話や実技を実施することで、児童生徒や保護者のより一層の安全・安心の確保が図られるものと判断している。</p> <p>事業の実施に当たっては、公募により各都道府県教育委員会等から提出された事業計画を精査し、本事業の目的に合致する取組を選定する。各地域における取組が完了した後、報告書の提出を受け、適正に予算が執行されているか確認する。</p>			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-	<p>福島第一原子力発電所事故による子どもの健康への影響に対する不安や精神的ストレス、運動不足を解消するし、一層の安全・安心を確保する観点から、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。</p>			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-	<p>事業の目的である、児童生徒等の健やかな体の育成や、児童生徒や保護者のより一層の安全・安心の確保を図る目的の達成に向け、引き続き効率的・効果的な予算執行に努めていく。</p>			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年		平成23年	
				平成24年

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

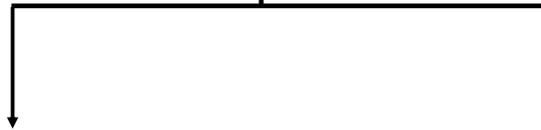
復興庁  
216百万円

( 文部科学省へ移替え )



文部科学省  
216百万円

( 児童生徒や保護者のより一層の安全・安心を確保するため、学校給食において放射性物質を測定するための検査を継続して実施し、結果を公表する。  
また、医師やスポーツトレーナー等を派遣し、講



【公募・委託】

A. 教育委員会(全9機関)  
186百万円

( 学校給食安心対策事業の実施 )

【公募・委託】

B. 福島県教育委員会  
30百万円

( 学校保健安心対策事業の実施 )

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.教育委員会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	検査員	106			
検査費	検査費、機器校正費	62			
借料及び損料	説明会場借料	4			
委員旅費	講師旅費	2			
消耗品費	消耗品費等	2			
諸謝金	講師謝金	1			
計		177	計		0
B.福島県教育委員会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	専門医等派遣謝金等	25			
委員等旅費	専門医等派遣旅費等	3			
その他	報告書作成費、資料郵送費	2			
計		30	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)